

リーディングDXスクール事業【実践事例】

武雄市立武雄中学校（佐賀県）【指定校】

【取組内容】 学びのロードマップで単元を見通す(英語科の例)

My Goal	Home	Textbook	Audio	Activity	Practice
My Goal					
りやすく質問しよう。					a volleyball is lighter than a soccer ball.
考えた質問をダン先生に質問してみよう					
ダン先生に彼女の好きを質問する					
ダン先生に彼女に好きなものについて質問する					A baseball is bigger than a tennis ball. A volleyball is lighter than a soccer ball. A tennis ball is the smallest of the five. A basketball is the heaviest of the five.
ダン先生にガールフレンドの好きを質問するために準備をしよう！					
本文理解プリントを終わらせる					
質問を考えた先生に質問し質問をしよう					A baseball is bigger than a tennis ball. A volleyball is lighter than a soccer ball. A tennis ball is the smallest of the five. A basketball is the heaviest of the five.
質問を考えた先生に質問					A baseball is bigger than a tennis ball.

進捗確認シート

学びのロードマップ（全11時間）

Orientation：Unit 6全体の学びの見通しをもとにトピックを決めよう。

Scene①：ダン先生にガールフレンドの好きを質問しよう。

Scene②：クラスみんなの意見を聞いてみよう。

Read and Think①：アンケート結果と具体的な情報を加えた原稿を書こう。

Read and Think②：友だちからアドバイスをもらおう。

パフォーマンステスト

ダン先生のためにガールフレンドが喜ぶ誕生日プランを提案しよう。

予備の時間：

学びのロードマップ

この英語科の例のように、各教科で単元の内容や学びの流れを見えるようにするために、学習計画や評価方法等を「学びのロードマップ」としてまとめた。この中に、学習に必要なサイトへのアクセスを簡単にするなどの工夫を行った。生徒は自ら必要な情報を積極的に取得するようになった。

1. 授業の概要とねらい

比較表現の習得と調査・発表力の育成を目標とした。生徒主体の学びを促すため、進捗確認シートと学びのロードマップを活用した。

2. 進捗確認シートの活用とその効果

進捗確認シートは、生徒の自己決定、他者との連携、自己調整を支援する目的で導入した。生徒は、目標設定、学習方法の選択、他者の進捗状況の参照などを通して、主体的に学習を進めた。特に、目標設定におけるループリックの活用や、他者との情報共有は、学習意欲の向上と協働的な学びを促進した。

3. 学びのロードマップの活用とその効果

学びのロードマップは、単元全体の学習の流れを可視化し、生徒に見通しをもたせるために提示した。これにより、最終目標に向けた学習計画を把握し、個々の活動の意義を認識することができた。パフォーマンス・テストの位置付けを明確にしたことで、ゴール達成へのモチベーションを高める効果もあった。

4. 授業における具体的な取り組み

授業は、ロードマップに沿って進める。Scene1でのALTへの質問や、Scene2でのクラスメイトへのインタビューは、生徒の主体的な情報収集とコミュニケーション能力向上に貢献した。Read and Thinkでは、プレゼンテーション原稿作成と相互評価を通して、思考力・表現力を高めた。

5. 考察と今後の課題

進捗確認シートと学びのロードマップの活用は、生徒の主体的な学習を促進し、学習意欲向上に貢献した。生徒は自身の進捗を把握し、協力しながら課題解決に取り組んだ。今後の課題として、進捗確認シートの記述内容の具体化による自己調整の促進、生徒に合わせたロードマップの個別化、デジタルツールの更なる活用などが挙げられる。

6. 結論

進捗確認シートと学びのロードマップは、生徒主体の学びを効果的に促進するツールとして有効であった。今後もこれらのツールを活用し、生徒の主体的な学習を支援していく。